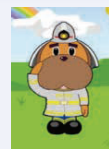


コラム5

# ★磯子消防団募集★



大切な人や町を災害から守るため、あなたのチカラが必要です。  
消防団員は本業の仕事や学業、家事をしながら、災害や地域防災の活動をする非常勤特別職の横浜市の公務員です。

訓練や研修で防災の知識・技術等を身に付け、いざと言う時は、消防団の絆で結ばれた仲間とチームプレイでご家族や地域住民を守ることができます。

入団資格は磯子区に居住している、または勤務・在学している、満18歳以上70歳未満の方で、男女問わず入団できます。また、外国籍の方も入団できます。

消防団員の活動に対して、報酬が支給されます。年額報酬36,500円、災害出場1回7,000円、訓練・防災指導等1回3,500円が支給されるほか、負傷時の補償や退職報償金の支給があります。



水面救助訓練の様子



※左のQRコードから磯子消防団のHPへ  
※右のQRコードから磯子消防団の消防団員募集YouTube 横浜市公式チャンネルへ

消防団名	定数(人)	実員(人)
磯子消防団	370	339
横浜市	8,305	7,868

令和4年4月1日現在

【お問合せ】 磯子消防署総務・予防課消防団係  
電話・FAX 753-0119

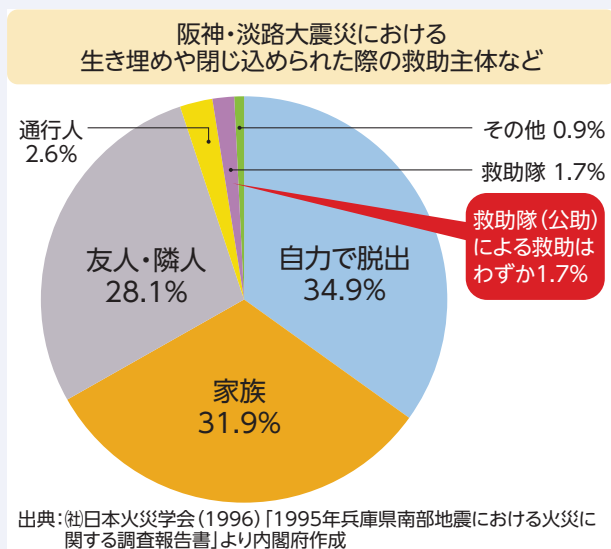
## 4. 地域防災・自助共助

コラム6

# 「自助」「共助」こそが力です

多くの人の命を救ったのは、家族や友人の救助だった！

大地震等による大規模災害が発生した場合には、行政や消防による「公助」には限界があります。そのため、**家庭や地域などにおける「自助」「共助」**が非常に重要です。



《日頃からできる備えの例》

自助＝「自分の身は自分で守る」

- ・家具の固定(転倒防止)
  - ・感震ブレーカーの設置
  - ・水・食料・トイレパックなどの備蓄(普段から「少し多め」を意識して買っておく)
- ローリングストックがおすすめ

横浜市 わが家の対策(自助)



共助＝「住民同士の助け合い」

- ・災害時要援護者(災害時に自力での避難が困難な人)の支援
  - ・災害時安否確認バンドナ等を活用した安否確認
- 災害時安否確認バンドナ
- ・防災訓練、地域防災拠点訓練への参加



阪神・淡路大震災では、7割弱が家族も含む「自助」、約3割が隣人などの「共助」により救出されているという調査結果があります。

【お問合せ】 磯子区総務課  
電話 750-2312 FAX 750-2530